

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	男女共同参画課
職	次長兼課長
氏名	本山 直美

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
男女が、社会の対等な構成員として、互いにその生き方を尊重し、あらゆる分野において共に参画し、共に責任を分かち合うことができる男女共同参画社会の実現を目指す。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
①男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革 ②方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大 ③女性の人権が推進・擁護される社会の形成					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
「男女共同参画社会」という用語の周知度	67.5 %	H22 年度	100.0 %	H27 年度	いしかわ男女共同参画プラン2011
県審議会等における女性委員の割合	31.7 %	H24 年度	50.0 %	H32 年度	〃
「女性相談支援センター」の周知度	29.0 %	H22 年度	100.0 %	H27 年度	〃



25年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①男女共同参画意識の啓発	男女共同参画を推進するため男女共同参画推進員を設置するとともに、企業や若い世代を対象に男女共同参画の理解促進に取り組む。
②女性の社会参画の促進	女性が自らの意識と能力を高め、あらゆる分野で主体的に力を発揮し、行動していく支援として、県政会議の開催や県政学習バスの運行に取り組む。
③女性に対する暴力の根絶	配偶者等からの暴力等に対する問題意識を高めるため、啓発活動や研修会、被害女性等への支援、市町の計画策定の支援などに取り組む。特に若年層に対する予防啓発を拡大するほか、「いしかわパープルリボンキャンペーン」を実施するなど啓発活動を強化する。